



福島の子ども保養プロジェクト・杉並

2013年8月12日-16日 杉並区施設「富士学園」



はじめに

2013年8月12日か4泊5日、富士学園と忍野村で第2回「福島子ども保養プロジェクト・杉並」保養事業が行われ、杉並を含めて16組53人のご家族が参加されました。今年、富士山や忍野村が世界遺産に登録されたこともあり、富士学園・忍野村の保養は福島の子どもたちや保護者の皆さんに大好評でした。「富士山お中道めぐり」は絶好の登山日和にめぐまれて、富士の雄大な自然を満喫することができました。忍野村の盆踊りにも参加させていただき、楽しいひとときを過ごすことができました。

よりうれしかったのは、子どもたちの突き抜けるような笑顔、お母さんやお父さんの満足そうなほほえみでした。スタッフ一同、参加者の皆さんからたくさんの元気をいただきました。ありがとうございました。

最後になりましたが、杉並区や杉並区教育委員会、並びに杉並区社会福祉協議会の後援をいただいたこと、そして何より本事業の成功に向けて、物心両面にわたる多くの方々の多大なご協力をいただいたこと、心より感謝申し上げます。

「福島の子ども保養プロジェクト・杉並」代表 長谷川 和男

杉並区は、次代を担う子どもたちが夢を持ち、その実現に向けてチャレンジできるよう、「次世代育成基金」を創設し、様々な事業を展開しています。こうした取組は、皆様の考えと重なるところも多くあり、今後も「福島子ども保養プロジェクト」が継続され、広がっていくことを願うものです。

本事業に携われた皆様に対して、感謝申し上げます。

杉並区長 田中 良



アンケートから

★みんな、子どもたちのために、という愛情が感じられました。私たちの話を真剣に受け止めていただきありがとうございました。

★怪我や虫さされなど、いつも気を使っていたので嬉しかったです。またたくさん遊んでもらったり、登山中の保育などとても助かりました。

★子どもだけの保養より、母子や親子で参加できたのがいい。塾やスポーツのある子にはなかなか行く暇がないのですが、お盆なら気兼ねなく行けます。中学生がいける保養がなかなかないのでありがたいです。一番放射線を浴びているのは中・高生だと思います。

★とても楽しく参加させてもらうことが出来、感謝しています。いつもは母子3人で保養に出かけていて私の負担が多い中、夫も一緒に参加できて、私の息抜きにもなりました。やっぱり家事をすることがないということがとても良かったです。

★何よりも、子どもたちと一緒に遊び、話し相手になり、一緒に手をつないで歩いてもらったことが一番ありがたかったです。

★「子どもたちを自由にさせておいてお母さんはゆっくり休んで」と言っていたら、私もリフレッシュすることが出来ました。子どもたちもゆったりとびのび笑顔で過ごした5日間でした。スケジュールも緩やかだったので、それがとても良かったです。



〈福島の子ども保養プロジェクト・杉並〉

会計報告&支援団体 (2013.9.25 現在)

約500人前後の個人からのカンパと、下記の団体から、ご支援いただきました。

支援団体

福島県人会 NPO法人てんぐるま 西永福協栄会
杉並の教育を考えるみんなの会 NPO法人ももの会
都教組杉並支部 ハッピーアシスト(株)
高円寺あずま通り商店会 杉並教職員組合
医療法人河北医療財団(医)財団荻窪病院S
和田堀診療所 杉並区職員組合(有)山徳
高円寺中通り商栄会 方南接骨院 ていごの会
高円寺銀座通り商店会 高円寺北中通り商栄会
南信用金庫・高円寺支店 東京土建杉並支部
杉並ぞう列車合唱団 日本ソーラーエネルギー協会
昔の知恵を生かす会 <順不同>

会計報告

(収入)	繰越残高	1,064,586
	参加者払込	267,247
	カンパ	2,533,828
	計	3,865,661
(支出)	運営費(会議・郵送・印刷など)	44,978
	諸経費(交通費・旅行保険など)	95,171
	宿泊費(三箇所)	1,713,225
	活動費(材料費・弁当・入館料など)	125,192
	バス代(往復・高速料金)	410,720
	報告書作成	89,280
	計	2,478,566
(今後の支出予定)	報告会・報告集送付	100,000

カンパありがとうございました。皆様からの温かい賛同の気持ちをいただきまして、来年への「福島子ども保養」につなげることができました。

ご承知の通り福島の現状は、放射能汚染水の問題も深刻で、なにひとつ改善されることなく厳しい状況が続いています。福島の人たちは、原発事故で突然奪われたこれまでの生活と見通しのたない将来への不安を抱えたままの毎日の暮らしを強いられています。

「福島子ども保養プロジェクト」も長期に継続しなければいけないでしょう。その意味も込めて、今年は杉並の親子の参加も始めました。交流を通して、改めて親としての思いを共感しあい、一緒に話せる友人への第一歩になれば嬉しいです。

子どもたちの未来・命を大切にする政治が一日もはやく実現することを願わずをえません。
事務局長 齊藤 正明

「福島の子ども保養」の活動を来年も継続を予定しています。カンパは引き続き受付していますので、よろしく願います。

郵便振替

口座記号番号: 00170-7-655815

加入者名:

「福島の子供保養プロジェクト・杉並の会」

〒166-0002 杉並区高円寺北 3-12-1
齋藤正明 TEL03-3337-2247

走る！ 解き放たれたように！ そして、走る！



お絵描きとくい！



こままし・けん玉に何度も挑戦！ 大好きになったよ



これがやりたかったんだ！
じろんこ遊び



大きな友だち
作ったよ
家へ連れて
いくなだよ



かまどで
カレー作り
火吹き竹が
大活躍！

みんな同じ条件で闘う調理バトル。優勝したのは、子どもたちに人気のちょっぴり甘いカレーでした。各チーム一番の苦勞は、火がうまく使えなかったこと。その時、頼りになるおっちゃん登場！ 福島のお父さんでした。おかげで昼食に間に合いました。



スイカ割り



富士学園の裏は、外灯もない真っ暗なジャリ道。ねえ、知ってる？ 肝試しは富士山に住む幽霊たちが協力してくれてるってこと。でも本当の幽霊だから、どんなカメラで撮っても絶対写らないんだ。

さもだめし
おばけに変身
わたしこわい？



できたあ！
夏休みの宿題？
一丁あがり！



花火に盆踊り
夏まんきつ！



キャンプファイヤーかこんで、歌って踊って

かまどの火と違ってファイヤー！ いきなりすごい勢いで着火しました。さーずが火の神っ！ えっ、あれ福島のお父さんなの！？ キャンプファイヤーを囲んで全員で声出して「じゃんけんゲーム」。最後には一本の長〜い貨物列車ができました。

